

令和4年度 項目別専門課程自己評価表

1. 学校の教育目標

- (1) 基礎的知識と技術を総合的に習得させ、真剣に自ら学ぶ態度の育成
- (2) 産業人としての実践力をのばすことのできる能力と態度の育成
- (3) 基本的生活習慣を身につけさせ、社会的規範（礼儀作法）の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 一人一人の学生をよく理解し、一人一人の個性・能力を伸ばす指導と正確な技術修得への育成に努める。
- (2) 自ら本気で積極的に進んで取り組み解決する力と、新しい時代に即応できる力に富んだ学生の育成に努める。
- (3) 良心に基づいて行動するたくましい精神力、他人を思いやる優しい心と、強い体力をそなえ、真剣味あふれる学生の育成に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学校における職業教育の特色は何か | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

少子化による整備士の人材不足が顕著になるとともに、若者の車保有の意識の薄さ、現場での年代による技術力の差が大きくなってきた。、整備力だけでなく故障 探究の知識・能力の必要性など、物づくり愛知の強みを生かした産業の活性化など、現状をよく理解し教育を実践する。また、職人を育成すべく教育内容の充実を図る。

② 今後の改善方策

企業研修会等への積極的な参加をするとともに、教職員の自己研修を促すとともに、学生らには国内でのインターンシップなどから実社会で求められている技術を学ばせる。

③ 特記事項

(2) 学校運営

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---|-------------------------------|
| ・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 また、有効に機能しているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 ③ 2 1 |

① 課題

自己評価並びに学校評価結果からの改善と情報公開を適切かつ積極的に公開する。

② 今後の改善方策

評価委員会が機能するとともに、学生らの能力向上を図るため、学校運営の充実や改善を組織的・継続的に実践する。

③ 特記事項

教職員間の情報の共有化並びに師弟間を含めた報告・連絡・相談の充実を図る。

(3) 教育活動

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---|-------------------------------|
| ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 授業評価の実施・評価体制はあるか | ④ 3 2 1 |
| ・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | ④ 3 2 1 |
| ・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | ④ 3 2 1 |

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

外部評価アンケート、学生評価アンケートの実施や結果による改善策の実践を図る。

② 今後の改善方策

編成委員会からの授業評価などからさらなる充実を図る。

③ 特記事項

教職員の指導力向上のための研修会への積極的な参加を図る。

(4) 学修成果

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・退学率の低減が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

卒業生全員が整備士資格取得を達成したことを、次年度以降も継続し達成できる方策をさらに検討する。

平成16年度から完全就職(留学生含)が達成されており良好であるので、今年度も同様の結果になるよう図る。退学率も同様な数字になるよう望む。

② 今後の改善方策

中途退学者0を目指すために、個々の学生とコミュニケーションを図り、早期異変の把握し対応されることを望む。

③ 特記事項

3日連続欠席の場合は、家庭訪問を実施の徹底を図る。

(5) 学生支援

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・ 保護者と適切に連携しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 卒業生への支援体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

愛自整会を中心にした就職支援は良好である。しかし、新型コロナウイルスによる生活困窮家庭が増加傾向にある。

② 今後の改善方策

国庫による奨学支援金を最大限活用し、学業に専念できるように取り組んでいるが厳しい現状である。

③ 特記事項

(6) 教育環境

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 防災に対する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

施設・設備の経年変化に対する改修策

② 今後の改善方策

築30年近くになるので、移転等も含めた計画をできる限り図りたい。

③ 特記事項

防災訓練年1回実施している。

(7) 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・ 学生募集活動は、適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学納金は妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

体験入学・見学会・高校訪問活動・日本語学校を通じたPR活動をさらに強化する。

② 今後の改善方策

整備士希望人材減少の中、他校との教育内容の差別化を図り、教員の資質向上に努める。

③ 特記事項

(8) 財務

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 財務について会計監査が適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 財務情報公開の体制整備はできているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

外部会計士、税理士による財務指導を実施している。

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 自己評価結果を公開しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

ホームページにおいて情報公開する。

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

| | |
|---|---------|
| ・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 ③ 2 1 |
|---|---------|

① 課題

学校開放＜自動車整備実習場＞の告知をしてはいるが、計3件と利用状況が活発でないのが現状である。

② 今後の改善方策

カリキュラム等考慮し、社会貢献できるよう取り組む。

③ 特記事項

国交省と連携し国道周辺の花壇維持・歩道清掃

赤十字と連携した献血活動

学校周辺地域清掃活動

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1. 2. の目標設定に近づくよう学生の教育に熱心に取り組み、職員を育成する。

3. の各項目評価結果

(1) 教育理念・目標…学校案内、体験入学等で周知されているが、さらに周知させる。自己評価においてもおおむね良好である。

(2) 学校運営… 各委員会が設置されたことから、質の高い職業実践教育を展開し運営されている。

(3) 教育活動… 「授業評価」教職員の自己評価は整備されているが、学生、保護者アンケートは発展段階にあり、早急の対応を進めるべきである。

(4) 学修成果… 整備士国家資格合格率について、留学生を含めた卒業生全員が合格することができている。今年度も全員合格を目指し今後の教育に取り組んで欲しい。

(5) 学生支援… 生活困窮者（家庭含む）に対する修学支援金の充実を図れるよう中退者のない教育環境作りをして欲しい。

(6) 教育環境… おおむね良好である。校地移転等を含め老朽化対策（移転含）は計画的に実施して欲しい。

(7) 学生の受入れ募集…告知など充実させ学生数増加に努めて欲しい。

(8) 財務… 財務に際してもおおむね良好である。引き続き安定した経営を望む。

(9) 法令等の遵守… 現在まで真摯に取り組んでいる。今後は外部に周知させることから、さらに高くなると思われる。

(10) 社会貢献… 国交省や地域と連携し活動していることがよく理解できたとし、今後も継続して貢献を望む。

上記、評価結果と今後の改善策等についての意見を自己評価等に積極的に活用できる体制作りを行い、本年度並びに次年度以降への改善に取り組めるよう図るようにした。